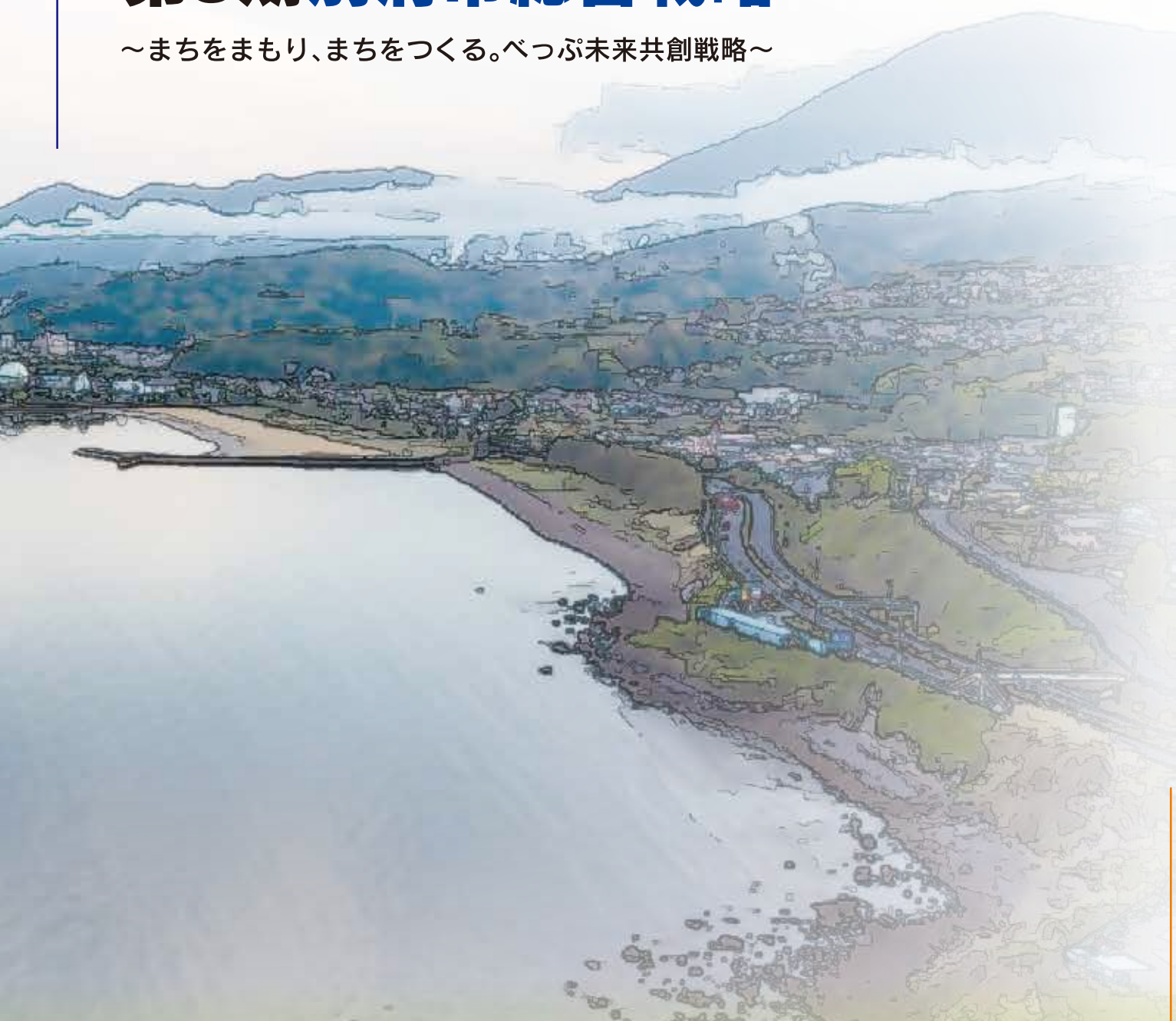


まちをまもり、まちをつくる。 べっぷ未来共創戦略

まち・ひと・しごと創生

第3期別府市総合戦略

～まちをまもり、まちをつくる。べっぷ未来共創戦略～



別府市

令和7年3月

まち・ひと・しごと創生 第3期別府市総合戦略

第1章

まち・ひと・しごと創生 第3期別府市総合戦略の策定について・・・1

- 1. まち・ひと・しごと創生
第3期別府市総合戦略の策定に当たって・・・ 1
- 2. 総合戦略の位置付け…………… 1
- 3. 総合戦略の計画期間…………… 1
- 4. 総合戦略の構成…………… 2

第2章

基本方針・・・3

- 1. 地域ビジョン…………… 3
- 2. 4つの基本目標と国及び大分県の
基本目標との関係…………… 5
- 3. 横断的な視点…………… 5
- 4. 別府の創生を実現する循環モデル…………… 6
- 5. 地域ビジョンの実現に向けた
総合戦略の体系図…………… 7

第3章

基本目標・・・9

- 1. しごとの創生(産業振興)…………… 9
- 2. しごとの創生(関係人口、定住人口)…………… 16
- 3. ひとの創生…………… 21
- 4. まちの創生…………… 28

第4章

施策効果の検証などの実施・・・38





まち・ひと・しごと創生 第3期別府市総合戦略の策定について

第1章

まち・ひと・しごと創生

第3期別府市総合戦略の策定について

1

まち・ひと・しごと創生 第3期別府市総合戦略の策定に当たって

人口急減と超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、国では「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、各地方公共団体においては、平成27年度内の「地方人口ビジョン」及び「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定が努力義務とされた。

これを受け、別府市(以下「本市」という。)では、「産・官・学・金・労・言」を始めとする民間事業者などの関係者からなる「べっぴん『感動・共創・夢』会議」での討議などを経て、「人口ビジョン」及び「まちをまもり、まちをつくる。べっぴん未来共創戦略」(以下「総合戦略」という。)を策定した。その後、令和2年度から始まる第2期「総合戦略」を「別府市総合計画」と一体的に策定した。なお、「総合計画」は、市政を推進していくための計画として最も上位に位置づけられる計画であり、別府市の総合的、計画的な行政推進の指針であり、また市民等の活動の指針としても位置づけられるものである。一方、「総合戦略」は、人口減少の抑制と人口減少下における社会課題解決に向けた取組を示すものである。

総合戦略の実施に当たっては、戦略の施策効果の検証などを実施するため、平成28年度に別府市総合戦略推進委員会を設置し、毎年度、別府の創生に向けた議論と実践を推進している。

国は、令和4年12月に第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、新たにデジタルの力を活用した地方の社会課題解決を目指す「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定した。今回、次代を担う本市の若手職員と市内大学生によるグループ研修での提案を踏まえた地域ビジョンを新たに設定するとともに、4つの基本目標と基本的方向、施策や取組、KPIなどを第3期「総合戦略」として取りまとめた。

2

総合戦略の位置付け

本市は、豊富な温泉、美しく特色ある自然や景観、国際色豊かな大学、充実した医療・福祉、発信力のある文化・芸術などのイベント、そして、多様な人材など、魅力ある資源を豊富に有している。それらの資源が国際観光温泉文化都市という特性をいかし、本市が育んできた多様性と受容性の礎となっている。

まちをまもり、まちをつくり、べっぴんの未来を共創するためには、本市が有する様々な資源をより有効にいかしていくことが求められる。そのための指針とするために、総合戦略を策定した。

本市の地方創生は、総合戦略を基軸として積極的に推進する。検討した各施策は、現場主義のもと、できることからすぐに実行することなどを基本姿勢として取り組むものである。

3

総合戦略の計画期間

総合戦略の計画期間は、令和7年度から令和11年度までの5年間とする。



4

総合戦略の構成

総合戦略は、地域ビジョンを定めるほか、4つの基本目標に、目標の実現に向けた基本的方向、施策、取組、KPIなどを記載している。

項 目	説 明
地域ビジョン	それぞれの地域が抱える社会課題の解決を図るため、地域が目指すべき理想像を示したもの
基本目標	人口の現状と将来の展望を踏まえた上で、それぞれの地域の実情に応じながら、一定のまとまりの政策分野ごとに、国及び大分県が示す戦略や基本目標を踏まえ設定する目標
基本的方向	基本目標の達成に向けてどのような政策を推進していくかの方向性を定めたもの
施策	基本目標ごとに、それぞれの地域の実情に応じながら計画期間(5年間)のうちに実施する具体的な施策
取組	施策として実施する具体的な取組(事業や各種の活動など)。取組ごとに、最後に箇条書きされているものは、その取組において想定される事業・活動などの例示
KPI	取組の成果について、目標設定や効果検証などを行う上での指標 各取組において、現状値は原則として令和5年度の数値を記載しているが、事業実施前など数値を把握していないものについては「-」としている
SDGs※1 のロゴマーク	SDGs(持続可能な開発目標:Sustainable Development Goals)とは、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成される国際目標のこと。この総合戦略においては、施策ごとに、SDGsの17の目標のうち関連する目標のロゴを付記している

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※1.持続可能な開発目標(SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいる。



基 本 方 針

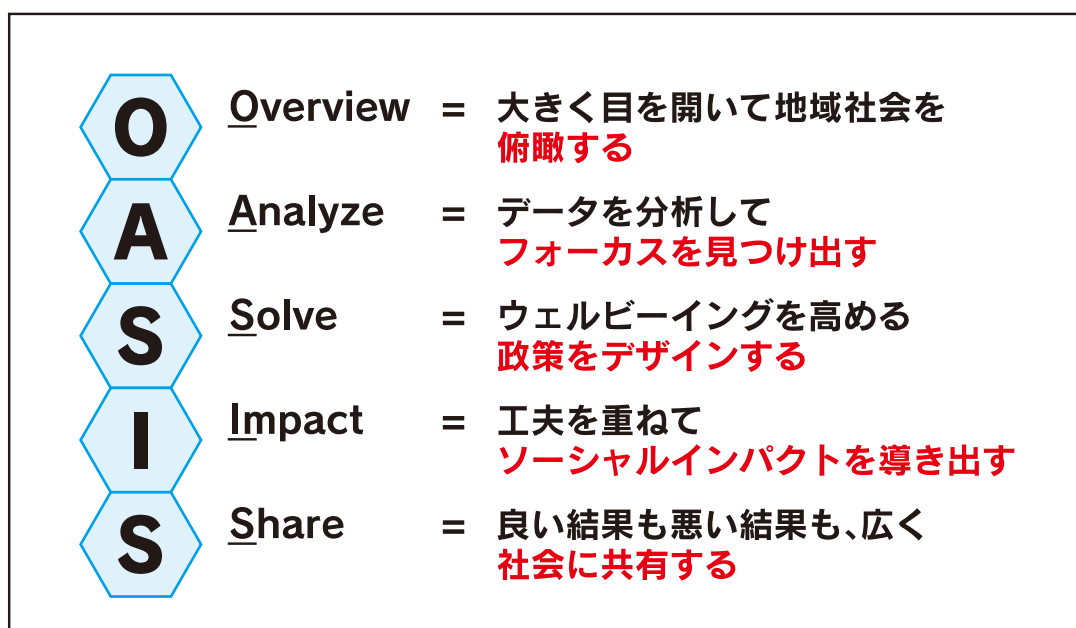
基本方針

1

地域ビジョン

地方版総合戦略の改訂に当たっては、まちが抱える社会課題の解決を図るため、地域ビジョン(地域が目指すべき理想像)を再構築した上で、具体的な地方活性化の取組を果敢に推進することが求められている。

今回の第3期総合戦略の策定に当たっては、次代を担う本市の若手職員と市内大学に通う大学生によるワークショップ(OASIS研修)を実施し、グループワークを通じて、地域幸福度指標をもとにしたデータ分析及びその分析結果に基づく将来像や施策の提案を行った。なお、OASIS研修とは、一般社団法人スマートシティ・インスティテュートが全国で実施している研修であり、本市のように市若手職員と大学生によるものは全国初の取組である。



出所:一般社団法人スマートシティ・インスティテュートHP

上記の研修では、統計データ等による客観評価と市民アンケート結果による主観評価に基づき、本市の強みや課題を分析した。その結果、自然や都市の景観、医療福祉、遊びや娯楽などに強みがあり、一方、教育、移動交通などに課題があることが分かった。

これらのデータをもとに提案された将来像を踏まえ、本市の地域ビジョンを次のとおり定めた。



【地域ビジョン】

◆自分らしい暮らし、人生設計のできる別府市

価値観やライフスタイル等、ニーズに応じた子育てとキャリアを両立できる環境を醸成することで、親子共に過ごしやすい(自己肯定できる)まちをつくる

◆住み続けたい・関わり続けたいと思えるまち

地域について学ぶことができ、自己実現の可能性(事業創造)があることで、いつか戻ってきたいと思ってもらえるようなまちをつくる

◆つながり広がる、にぎわいあふれる別府

雇用と子育てを核として、子育て世代や働き世代の移住を促進し、こどもが増えることで街がにぎわい、地域のにぎわいから雇用を創出する好循環モデルを確立する

◆大学生・20代の若い世代が活躍できる活気のあるまち

市内に大学があり、留学生も多く暮らす別府。卒業後も別府で「はたらく」選択肢のひとつとして「起業」があり、自分らしくいきいきとやりたいことができるまちをつくる

◆毎日温泉地獄！湯けむりシティパーク

温泉に入って、温泉を食べて、温泉を飲んで、心も体もHappyになるまちをつくる

◆「遊び」で福祉・教育・地域づくりが広がり・進化するまち別府

「何かをしたいけど、何をしたいかわからない」若者が活動できる＝「主役」になれる＝でしゃばり甲斐のある仕組みをつくり、若者の「遊び」が、福祉・教育・地域づくりに有機的に作用しあい、誰でも明日に挑戦できる・進化するまちをつくる

基本方針



2

4つの基本目標と国及び大分県の基本目標との関係

本市の基本目標は、国・大分県が示す政策分野ごとの方針を踏まえ、次の4つとする。

別府市	大分県	国
《基本目標1》 しごとの創生(産業振興)	Ⅱ【しごと】力強い産業が育ち、働きがいのある仕事生まれるおおい	地方に仕事をつくる
《基本目標2》 しごとの創生 (関係人口、定住人口)	Ⅳ【ひとやものの流れ】新しい人や物の流れが広がり、つながるおおい	人の流れをつくる
《基本目標3》 ひとの創生	Ⅰ【ひと】すべての人が輝き、一人ひとりの希望がかなうおおい	結婚・出産・子育ての希望をかなえる
《基本目標4》 まちの創生	Ⅲ【まち】暮らしの豊かさを実感でき、魅力的な地域であふれるおおい	魅力的な地域をつくる

なお、国は、「デジタル基盤の整備」「デジタル人材の育成・確保」「誰一人取り残されないための取組」などの「デジタル実装の基礎条件整備」を推進し、地方のデジタル化を支援することとしている。

3

横断的な視点

本市の基本目標の達成に向けた施策及び取組においては、多様な人材の活躍の推進や新しい時代の力の活用など、横断的な視点をもって実施に当たる。

横断的な視点	説明
1.多様な人材の活躍の推進	地方創生の基盤をなす多様な人材の掘り起こし・育成・活躍などの支援、誰もが活躍できる地域社会の推進など
2.新しい時代の流れを力にすること	未来技術を活用した地域課題の解決・改善、地域におけるSociety5.0 ^{※2} の推進など
3.財源の確保	企業や個人とのつながりの強化、施策や取組の推進に必要な寄附・投資・事業など
4.広域連携の推進	地域の経済社会構造全体を大局的に見た地域マネジメント、近隣自治体との連携など
5.SDGsの推進	SDGsの実現に向けた貢献、地方創生におけるSDGsを原動力とした持続可能なまちづくりなど
6.デジタルファーストの推進	市民サービス、行政運営、観光戦略を中心としたデジタルのちからの最大限の活用など

※2.サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)。狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く、新たな社会を指すもので、第5期科学技術基本計画において目指すべき未来社会の姿として提唱された。

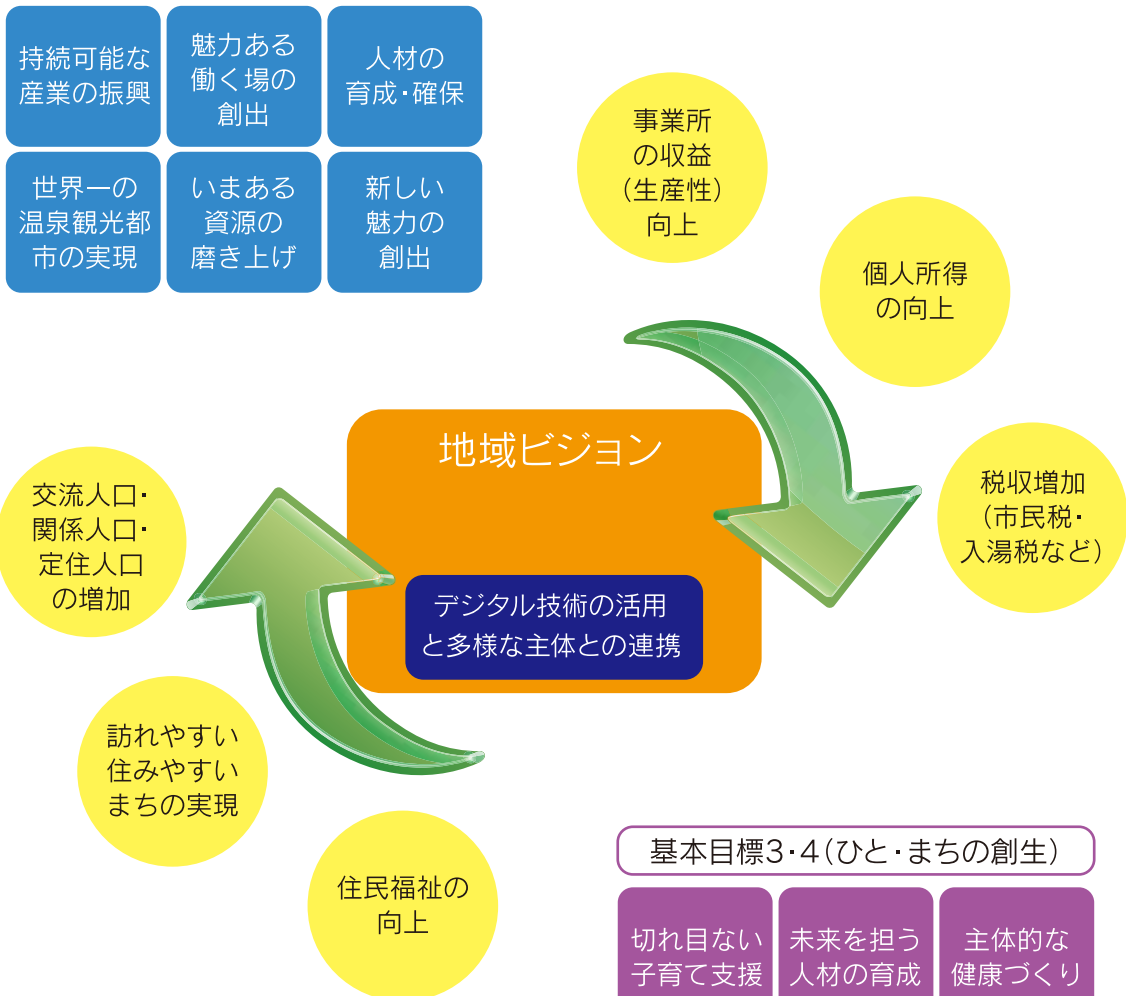


4 別府の創生を実現する循環モデル

本市の総合戦略は、しごとの創生によって市民の所得や事業者の収益を増やすことで本市の税収を増やし、ひとの創生やまちの創生を充実させることにより、更なる産業振興と交流人口、関係人口、定住人口の増加につなげていく「好循環モデル」となっている。この好循環を持続的にうみだすことで、地域ビジョンに掲げるまちの理想像の実現を目指す。

その際、デジタル技術の活用と多様な主体との連携により、好循環の拡大を図る。

基本目標1・2(しごとの創生)



5 地域ビジョンの実現に向けた総合戦略の体系図



目 標	施 策	取 組	頁
基本目標 1 しごと の創生 (産業振興)	施策ア:「新湯治・ウェルネス」など による新たな産業・ビジネス の創出	取組①新湯治・ウェルネス構想の推進	10
		取組②「起業・創業」の強力な推進	10
		取組③別府を応援するヒト・企業とのつながりの強化	10
	施策イ:既存産業の活性化及びイノ ベーションの推進	取組①「B-biz LINK」との連携	11
		取組②農林水産業の活性化	11
		取組③竹産業等既存産業のイノベーションの推進	12
		取組④地域経済の中心である中小企業の振興	12
		取組⑤市街地を中心としたにぎわいの創出	12
		取組⑥地域内経済循環の推進	12
		取組⑦勤務地・居住地に縛られない企業などの市内におけるビジネス展開の促進	13
	施策ウ:産業人材の育成・確保及び 労働環境の整備	取組①別府の産業を担う人財の育成	14
		取組②若者の地元就職の促進	14
		取組③障害のある人及びその家族の就業促進	14
		取組④仕事と子育ての両立ができる社会の実現	15

目 標	施 策	取 組	頁
基本目標 2 しごと の創生 (関係人口、定住人口)	施策ア:多様な観光客の受入態勢の 整備	取組①持続可能な魅力ある温泉観光都市づくりの推進	17
		取組②ユニバーサルツーリズムの推進	17
		取組③外国人観光客の受入環境の整備	17
		取組④別府版DMO機能の強化	18
	施策イ:ひとを呼ぶ新しい魅力の 創出とひとの流れの 拡大促進	取組①多様なシティプロモーションの強化	19
		取組②観光DXの推進	19
		取組③様々なスポーツイベントの推進	19
	施策ウ:関係人口、交流人口の創出と 定住人口への転換の促進	取組①ふるさと納税などを入口とした関係人口の創出	20
		取組②移住の促進及び定着に向けた取組	20
		取組③空き家情報の発信とさらなる活用	20

目 標	施 策	取 組	頁
基本目標 3 ひと の創生	施策ア:結婚妊娠出産子育ての切れ 目ない支援の充実	取組①男女が出会える機会の創出	22
		取組②妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援	22
		取組③子どもの健康促進	22
		取組④安心して子どもを預けられる環境整備	23
		取組⑤地域における子育ての支援	23
	施策イ:全ての子どもを育む環境の 充実	取組①地域の子育て力の強化	24
		取組②子どもの居場所の確保	24
		取組③子どもの安全安心の確保	25
	施策ウ:別府の未来をつくる人材の 育成	取組①教育環境の整備	26
		取組②子どもの教育の質の更なる向上	26
		取組③安全でおいしい学校給食の提供	26
		取組④郷土に関する学習「別府学」の実施	27
		取組⑤国際感覚豊かな人材の育成	27
		取組⑥子どもの読書活動の推進	27

目 標	施 策	取 組	頁
基本目標 4 まち の創生	施策ア:誰もが安全安心なまちづくり	取組①地域の防災体制の強化	29
		取組②インクルーシブ防災の推進	29
		取組③災害に強いまちづくり	30
	施策イ:市民生活の質の向上に 向けたまちづくり	取組①地域公共交通の利便性向上	31
		取組②誰にもやさしい道づくりの促進	31
		取組③誰にもやさしい施設整備の促進	31
		取組④こころのバリアフリー化・ユニバーサルデザインの促進	32
		取組⑤下水道整備の促進	32
		取組⑥みんなが行きたくなる公園づくり	32
		取組⑦図書館・共創交流拠点こもれびパークの整備と活用	32
		取組⑧文化芸術活動を通じたまちづくりの推進	33
		取組⑨全ての世代の活躍に向けた健康寿命延伸の推進	33
		取組⑩認知症高齢者の方の家族支援・相談支援体制の充実	33
	施策ウ:連携と協働による持続可能 な地域づくり	取組①地域力の維持・向上	34
		取組②持続可能な温泉資源の保護及び活用	34
		取組③大学連携の促進と地域課題解決の人材育成を通じた関係人口の創出	35
		取組④地域教育力の強化	35
	施策エ:市民を第一にした行政 サービスの実現と デジタル化の推進	取組①デジタルファーストの更なる進化	36
		取組②市役所の業務改革と窓口を始めとした行政サービス改革の実行	36
		取組③競輪などの既存の事業収益の向上及び活用	36
		取組④遊休公有財産(土地・建物など)の有効活用	37



基 本 目 標

基本目標

1

しごとの創生（産業振興）

(1) 基本的方向

ア 本市の資源・強み

本市の主要産業は、観光業及び医療・福祉産業である。本市は、観光業が盛んで、温泉を中心とした魅力的な観光資源も多く、国内外から多くの旅行者が訪れている。また、本市には、高度かつ専門的な医療機関も含め、医療機関は充実し、福祉関連の施設も多い。

また、市内の大学には国内外から多様な人材が集まっていることや、別府産業連携・協働プラットフォーム「B-biz LINK」(以下「B-biz LINK」という。)による産・学・官などの連携によるイノベーションが創出されやすい環境が整っており、主要産業間や産業横断での産業振興も促進されやすくなっている。

イ 本市の課題・弱み

本市の産業構造は主要産業への集中が著しく、多様で魅力ある産業や企業が限られることから、若者や子育て世代の人口流出につながっている。また、温泉という有力な資源が観光業でいかされているものの、観光業での更なる活用余地、関連産業や官民連携での新たな活用の可能性が残されている。

そのため、主要産業の更なる振興のほか、その周辺産業を中心とした多様な産業の振興などが課題として挙げられる。

ウ 目指す姿

観光業や医療・福祉産業といった主要産業の魅力を更に磨き上げ、その周辺産業とも連携して新しいビジネスや商品を創出し、市民や観光客などに新しい価値を提供して喜んでもらうことで、市民がいきいきと安心して働ける別府を目指す。

エ これまでの取組

これまでの総合戦略にも掲げ、観光業の振興や産・学・官などと連携した別府一丸となった産業振興などに取り組んできたことで、観光客数の増加や学卒後も別府に残って起業する者が増えるなど、一定の成果を挙げている。

オ 基本的方向

観光業や医療・福祉産業といった主要な産業の強みを最大限に活用し、「B-biz LINK」などの様々な連携を通じて新しいビジネス・商品を創出し、産業振興に深みと広がりを持たせる施策・取組を進める。また、その基盤となる人材の確保や育成にも積極的に取り組む。

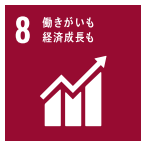
カ 数値目標

指 標	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
労働人口に占める所得割の納税義務者数の割合	46.95%	47.95%



(2) 具体的な施策、主な取組とKPI

【施策ア】 「新湯治・ウェルネス」などによる新たな産業・ビジネスの創出



取組① 新湯治・ウェルネスの推進

医療・美容・健康をテーマに、温泉の効能を科学的根拠で見える化し、別府の自然、食、歴史、文化など様々な地域資源と組み合わせることで別府ならではの特別な体験を提供するという、別府の良さを全て活用した新しい長期滞在型の観光「新湯治・ウェルネス」を推進する。

- 温泉効能の見える化
- 研究・実践拠点施設の設置

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
オープンデータ化した温泉入浴効果のエビデンス数	—	50件(累計)
研究・実践拠点施設の設置に係る進捗率	—	100%

取組② 「起業・創業」の強力な推進

別府の基盤となる観光産業の活性化及び新たな産業創出を図るため、起業・創業の支援を継続する。また、起業・創業から事業拡大まで切れ目ない支援体制の構築に取り組む。

- 学生、地元企業、都市部企業、起業家などとの交流の機会の創出
- ビジネス化に向けたサポート体制の構築
- 起業・創業を後押しするヒト・モノ・資金・情報・技術の供給などの仕組みの構築
- 起業に必要なスキル向上支援による人材の育成

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
起業・創業件数	81件	87件(累計)

取組③ 別府を応援するヒト・企業のつながりの強化

別府ツーリズムバレー構想の取組を強力に進めるためのコミュニティ「BEPPU FAN TOWN」を軸としたヒト・企業とのネットワークを構築し、市内外から多くのサポートを受けられる仕組みを構築する。

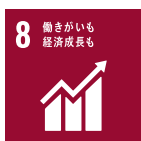
- 別府に関わるヒト・企業とのネットワーク構築
- 別府ツーリズムバレーに関する情報の発信

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
BEPPU FAN TOWNの新規サポーター登録数	—	15者(累計)
BEPPU FAN TOWNのサポーター登録数	149者(累計)	160者(累計)

基本目標



【施策イ】 既存産業の活性化及びイノベーションの推進



取組① 「B-biz LINK」との連携

本市の地域振興に関する諸施策と連携した活動を行い、地域経済の持続的な発展と市民生活の向上に寄与するために設立された、市内の企業、大学、行政、地域を連携・協働のハブ機能である「B-biz LINK」と連携して事業の推進に取り組む。

- 起業・創業の相談、支援
- 産業を担う人材育成の支援
- 販路開拓支援、新商品・新サービスの開発支援及びビジネスマッチング
- 関係機関との連携強化

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
B-biz LINKが中心となって実施したプロジェクト数	5件	25件(累計)

取組② 農林水産業の活性化

農林水産業の基盤整備を行うとともに、6次産業化等の高付加価値化を推進することにより持続かつ発展可能な産業化に取り組む。また、これらの取り組みにより新規就業者などの担い手の育成・確保を図る。

- 農地や農道・水路などの農業施設などの基盤整備
- 集落協定(地域活動組織)による農地保全活動の推進
- 最新技術を活用した有害鳥獣の被害の防止や狩猟者確保・育成
- 間伐・下刈等による森林整備
- 漁場の保全及び栽培漁業の推進
- 6次産業化や他産業連携等による地域内での地元産品の活用促進
- 地域の特色を生かした高付加価値な農産物栽培の推進

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
農林水産業の新規就業者数	4人	19人(累計)



取組③ 竹産業等既存産業のイノベーションの推進

新たな竹産業の確立・振興に向けたイノベーションの創出のため、担い手の育成及び定着を図るとともに、異業種などとの連携により付加価値の向上に取り組む。

- 作業環境の整備などによる人材の確保及び育成と竹工芸家の市内定住促進
- 竹林の整備などによる原材料の安定確保の促進
- 市民、観光客のだれもが竹と触れ合う機会の創出
- 竹細工伝統産業会館を起点とした竹製品(竹細工)の認知度向上

KPI	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
竹工芸訓練センター修了生の市内就職者数	4人	8人(累計)
別府市竹細工伝統産業会館の入館者数	10,348人	12,500人
竹を活用した新たな商品やビジネスの開発数	—	2件

取組④ 地域経済の中心である中小企業の振興

別府市中小企業振興基本条例に基づき、中小企業の自助努力を基本に経営基盤の安定強化や事業の持続的な発展を目指し、商工会議所ほか関係機関と連携して中小企業支援に取り組む。

- 課題把握のための実態調査の実施
- 課題解決のための施策立案

KPI	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
市内中小企業に対する調査訪問数	—	150件(累計)

取組⑤ 市街地を中心としたにぎわいの創出

市街地を中心としたにぎわいを創出するため、事業者や関係団体との連携を通じて持続可能な商店街機能を高める取組を行う。

- 空き店舗実態調査による原因と課題の把握
- 所有者等に対する利活用への支援
- 空き店舗の情報提供体制の構築

KPI	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
空き店舗の再生件数	—	21件(累計)

取組⑥ 地域内経済循環の推進

域内循環と域外からの資金獲得を促進し地域経済の活性化を目指す。

- 地域通貨の導入
- 地域ポイントの導入

KPI	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
観光消費額	925億円	1,000億円

基本目標



取組⑦ 勤務地・居住地に縛られない企業などの 市内におけるビジネス展開の促進

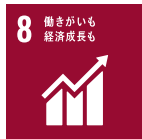
温泉資源や学生(特に留学生)が多いといった本市の特徴の訴求など、オフィス系企業などの勤務地に縛られない企業やビジネスパーソンの誘致に取り組む。

- オフィス系企業(Webデザインなど)やフリーランスなどの居住地を選ばないビジネスの誘致(コワーキングスペースなどの活用)
- 誘致のきっかけづくりとしての、フリーランスや企業に対するワーケーションの提案

KPI	現状値[R5]	目標値[R11]
誘致企業数	7件(累計)	13件(累計)



【施策ウ】 産業人材の育成・確保及び労働環境の整備



取組① 別府の産業を担う人財の育成

別府の産業を活性化するための原動力となる「人財」を創出するために、あらゆるヒトとの交流の場を創出し、さらに産・学・金・官が連携して地域の課題解決や新たなビジネスが創出できる土壌・環境の整備に取り組む。

- 新たなビジネスを創り出すための交流の機会の創出
- 「人財」を育成する学び・実践の場の創出

KPI	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
人財育成につながる 学び・実践・交流の場の参加者数	242人	300人

取組② 若者の地元就職の促進

市内の高等学校や大学で学ぶ学生の定着を図り、別府の産業人材として確保・育成していくために、インターンシップの改善や就職マッチングイベントの開催などに取り組む。

- 就職マッチングイベントの開催
- 教育機関、民間企業などと連携した実践的なインターンシップの実施
- 企業のネットワーク化による学生への訴求力の向上

KPI	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
市内高等学校卒業生の就職者のうち市内就職率	48.7%	50%
市内大学(短期大学を含む)卒業生の 就職者のうち市内就職率	7.4%	9%

取組③ 障がいのある人及びその家族の就業促進

障がい者がより活躍できる環境の整備として、多様な働き方の提案、障がい者支援団体などとの連携による雇用促進などの支援に取り組む。

- 障がい者支援団体などとの連携による障がい者の雇用促進
- 障がいのある人を看護・介護する家族の就業促進及び離職の防止

KPI	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
障がい者の一般就労への移行者数	46人(累計)	230人(累計)
障がいのある人の家族の就労支援の新規利用者数	—	25人(累計)

基本目標



取組④ 仕事と子育ての両立ができる社会の実現

男女ともに活躍できるよう、多様な働き方の提案、子育てと仕事を両立できる職場の意識改革を推進、ワークライフバランスの実現に向けた社会の実現のための啓発を行う。

さらに企業等における取組の促進を図るため、講座を開催する。

- 男性の家事や育児参画意識の浸透を図るための啓発の実施
- 女性の社会参加促進に向けた女性の能力向上及び就労のための研修の実施
- 企業・団体に対する育児・介護休業法や仕事と生活の調和の必要性についての啓発活動の実施
- 様々な分野における女性参画推進の意識啓発の実施

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
女性の参画を推進する啓発講座参加者数	275人	300人





2 しごとの創生(関係人口、定住人口)

(1) 基本的方向

ア 本市の資源・強み

本市には、世界屈指の温泉を軸とした魅力あふれる観光資源が存在し、海や山などの美しい景観、豊かな食などがあり、多くの観光客をひきつけている。また、医療・介護サービス業が主要産業となっており、高齢者や障がい者などが安心して暮らせる環境も整っている。

さらに、本市の資源・強みとしては、新しいものを受け入れる市民の気質も挙げられる。外国人観光客や大学の留学生なども多く、ひとの多様性に富み、それを快く受け入れる市民の受容性がある。

イ 本市の課題・弱み

本市の課題としては、公共交通の更なる充実が挙げられる。本市の中心部は扇状地であるため坂道が多く、日常生活や観光における移動手段の確保のため、別府駅などを起点としたバスやタクシーといった公共交通の充実が必要である。

また、多様な世代のそれぞれにとって魅力のある就業先の創出も本市の重要な課題の一つである。若者や子育て世代が本市に留まりたいと思うような魅力のある企業の誘致や、高齢者などが生涯活躍できるための働き口の確保が必要である。

ウ 目指す姿

温泉を中心とした観光業の魅力を磨くとともに、医療・福祉産業をいかした健康効果の訴求などの周辺産業との連携をいかし、別府に來れば健康で幸福な時間を過ごせるというまちを目指す。

エ これまでの取組

温泉を軸としたイベントなどを行い、新しいひとの流れの創出に取り組んできた。また、「空き家バンク」などの移住や定住促進に取り組み、一定の成果を挙げている。

オ 基本的方向

観光業や医療・福祉産業といった主要な産業の特性をいかして新しいひとの流れを作るとともに、二次交通や多様な就業先の確保といった暮らしに必要な環境の更なる整備を推進し、関係人口の創出や定住人口の増加に向け、それぞれの段階に応じた施策・取組を進める。

カ 数値目標

指 標	現状値(R5)	目標値(R11)
観光消費額	925億円	1,000億円
宿泊者数	2,388千人	2,720千人

基本目標



(2) 具体的な施策、主な取組とKPI

【施策ア】 多様な観光客の受入態勢の整備



取組① 持続可能な魅力ある温泉観光都市づくりの推進

集客力のあるイベント、他観光地との連携、景観の向上、MICEの推進など、温泉観光都市としての魅力向上や情報発信に取り組む。

- 「ユニバーサルツーリズム」「観光DX」「免疫力日本一宣言の実現」「食×観光」を4本柱とした別府観光推進のための体制構築及び基盤の整備
- 既存の観光コンテンツの磨き上げや新たな観光コンテンツの創出
- 新湯治・ウェルネスツーリズムの推進
- 市内の温泉地毎及び市内の温泉地横断での集客力のあるイベントの創出
- 観光客の市内滞在時間の伸長など、観光消費額を増加するための仕組みづくり
- 他観光地と連携した広域的な魅力の発信
- 歴史的建造物を活用した誘客促進
- 観光客のおもてなしを行う機能の整備
- 観光産業の高付加価値化

KPI	現状値[R5]	目標値[R11]
観光消費額	925億円	1,000億円

取組② ユニバーサルツーリズムの推進

ユニバーサルツーリズムの世界的な先進地を目指し、受入環境の整備及び情報発信に取り組む。

- 高齢者や障がい者が安心して旅行ができる体制の整備
- 宿泊施設、観光施設、温泉施設などのバリアフリー化の促進
- 民間事業者との連携によるソフト面の拡充

KPI	現状値[R5]	目標値[R11]
バリアフリーツアー相談対応件数	124件	180件

基本目標



(2) 具体的な施策、主な取組とKPI

【施策ア】 多様な観光客の受入態勢の整備



取組① 持続可能な魅力ある温泉観光都市づくりの推進

集客力のあるイベント、他観光地との連携、景観の向上、MICEの推進など、温泉観光都市としての魅力向上や情報発信に取り組む。

- 「ユニバーサルツーリズム」「観光DX」「免疫力日本一宣言の実現」「食×観光」を4本柱とした別府観光推進のための体制構築及び基盤の整備
- 既存の観光コンテンツの磨き上げや新たな観光コンテンツの創出
- 新湯治・ウェルネスツーリズムの推進
- 市内の温泉地毎及び市内の温泉地横断での集客力のあるイベントの創出
- 観光客の市内滞在時間の伸長など、観光消費額を増加するための仕組みづくり
- 他観光地と連携した広域的な魅力の発信
- 歴史的建造物を活用した誘客促進
- 観光客のおもてなしを行う機能の整備
- 観光産業の高付加価値化

KPI	現状値[R5]	目標値[R11]
観光消費額	925億円	1,000億円

取組② ユニバーサルツーリズムの推進

ユニバーサルツーリズムの世界的な先進地を目指し、受入環境の整備及び情報発信に取り組む。

- 高齢者や障がい者が安心して旅行ができる体制の整備
- 宿泊施設、観光施設、温泉施設などのバリアフリー化の促進
- 民間事業者との連携によるソフト面の拡充

KPI	現状値[R5]	目標値[R11]
バリアフリーツアー相談対応件数	124件	180件



取組③ 外国人観光客の受入環境の整備

外国人観光客の増加に向け、これまで実施してきた受入環境の拡充に加え、新たな技術やサービスの導入による更なる利便性の向上に取り組む。

- Wi-Fiや案内窓口機能などの対応可能なサービスやエリアの更なる拡充
- ウェブサイトやSNS等を活用したより詳しい情報提供
- 宿泊施設などと連携した災害発生時の外国人対応の強化
- 新しいICT技術やサービスの情報収集と積極的な導入検討

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
観光案内所(WANDER COMPASS BEPPU)の外国人来訪者数	59,560人	65,520人

取組④ 別府版DMO機能の強化

別府版DMO機能として、「B-biz LINK」との更なる連携に取り組み、観光商品の開発、マーケティング、ブランディングなどの観光振興策に戦略的に取り組む。

- DMO機能の推進強化に向けた資源投資
- コト消費の観光コンテンツや広域連携による周遊ルートなどの商品開発
- 観光業における最新動向の把握と本市に合う形でのスピーディーな展開

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
外国人観光客数	281,564人	622,000人



基本目標



【施策イ】 ひとを呼ぶ新しい魅力の創出とひとの流れの拡大促進



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

取組① 多様なシティプロモーションの強化

ブランドイメージの確立と情報発信を推進し、多様なシティプロモーションの強化に取り組む。

- SNSやウェブサイトを活用した情報発信
- 多言語対応や必要な情報の的確な提供などのウェブサイトの運用
- 多様な媒体を活用したプロモーションの実施
- 海外のターゲットエリアにおけるイベントの開催や現地旅行代理店への営業
- 芸術文化に関する情報の発信と移住アーティスト・クリエイターの活動の紹介
- 若者向け情報発信の強化

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
新規プロモーション事業数	—	10件(累計)

取組② 観光DXの推進

デジタルの力を活用し、マーケティング・広報の強化を図り、別府の稼ぐ力の増強に取り組む。

- コンテンツ整備・データ利活用によるデジタル観光地経営の強化
- デジタルマーケティング体制の強化
- 広報の強化
- 「稼ぐ」仕組みの強化

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
別府市公式観光ウェブサイトのアクセス数	2,318,935ページビュー	3,710,300ページビュー

取組③ 様々なスポーツイベントの推進

本市の多様な自然環境をいかし、「別府」を冠するなどの多様なスポーツイベントの誘致、創設、主催、温泉をいかしたメリットの訴求や継続的なイベントとしての位置づけなどに取り組む。

- 「別府」を冠するなどの多様なスポーツイベントの実施
- スポーツ後の疲れを温泉で癒すことのセットでのPR
- 市内スポーツ施設の整備

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
スポーツツーリズム施策等による誘客数	428,380人	432,837人



【施策ウ】 関係人口、交流人口の創出と定住人口への転換の促進



取組① ふるさと納税などを入口とした関係人口の創出

湯のまち別府ふるさと応援寄附金により、別府の認知度・好感度を向上させるとともに、返礼品を通じて別府とのつながりをより強くもってもらうため、魅力ある返礼品開発や新たな関係人口の創出に向け取り組む。

- 魅力ある返礼品の開発
- 独自ポータルサイトを活用した情報発信の強化
- 現地体験型返礼品開発の強化による二次消費の拡大
- 企業版ふるさと納税を活用したプロジェクトを通じた関係人口の創出
- ガバメントクラウドファンディングを通じた地域創生プロジェクトの支援

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
ふるさと納税の新規返礼品の増加数	121件	130件

取組② 移住の促進及び定住に向けた取組

移住や定住の促進に向け、別府への移住や定住に関する支援策などを整備し、その魅力とともに情報発信に取り組む。

- 職業・年齢・国籍などに応じた多様なニーズと多様な解決策の情報収集
- 移住者の相談対応や受入支援の充実
- 移住や定住に向けた支援の在り方の検討
- 関係人口との交流機会の創出
- 移住後のサポート体制の構築
- 移住を後押しするデジタル技術を活用した情報の発信
- 地域資源を活用した移住定住につながる支援

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
移住に関する相談対応件数	227件	300件

取組③ 空き家情報の発信とさらなる活用

移住を促進させるため、空き家バンクの登録件数を増やし、移住者向け支援策の整備を行い、その情報発信に取り組む。

- 空き家所有者向けの空き家バンク制度の周知
- 宅地建物取引業者の協会に対する空き家バンク登録の協力依頼
- 移住者向けの全国版サイトでの情報発信
- 空き家バンクを利用した移住者向け空き家バンク関係支援策の充実
- 動画撮影等により移住者がイメージしやすいサイトの整備

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
空き家バンクを利用した市外からの移住者の世帯数	5世帯	15世帯

基本目標

3

ひとの創生

(1) 基本的方向

ア 本市の資源・強み

本市は、保育所や放課後児童クラブの定員増加、子育て支援拠点などの子どもの居場所の増設などに取り組み、働きながらも子育てをしやすい環境をハード面・ソフト面ともに整備している。

また、市内には複数の大学があること、留学生が多く市民との交流機会も多いことから、生活や教育の中に、人間性、社会性、国際性、多様性の理解を育む環境が整っている。

イ 本市の課題・弱み

本市では、女性の就業率が増加傾向にあり、特に20代後半から40代前半にかけての女性の労働力率が高く、女性の社会進出や就労形態の多様化に伴い、育児と仕事の両立を支援し、子育て家庭の多様なニーズに対応できるよう子育て支援サービスの充実が求められている。

また、近隣市と比較して教育環境に満足していない市民も一定程度いることから、本市の資源をいかした特色ある教育環境の整備が求められる。

ウ 目指す姿

子育てしやすい環境や本市の特長である国際性などをいかした教育環境をより充実させ、子育て世代に選ばれるまちを目指す。また、出会い、結婚、出産の機会も創出する。

エ これまでの取組

出会いの場の創出、結婚・出産・子育てがしやすい環境の整備、子どもの健康増進、学力の育成、留学生との交流機会の創出など、これまでの総合戦略にも多くの施策・取組を掲げ、成果を挙げている。

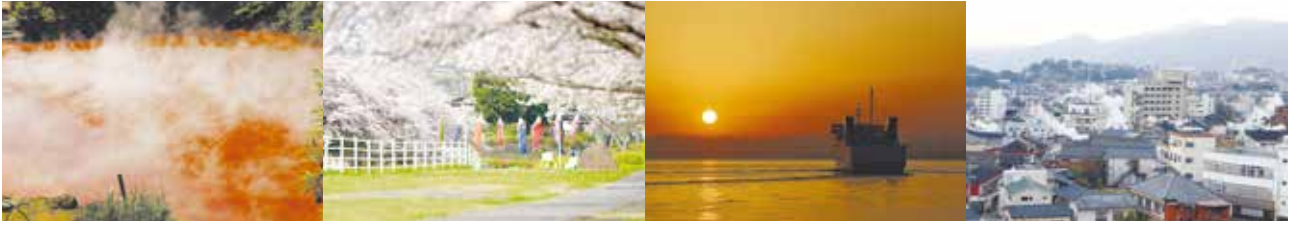
オ 基本的方向

より一層、結婚、出産、子育てがしやすくなるよう、支援内容の細かさやワンストップでの対応、利用機会の拡充などに、地域の力も活用しながら推進する。

教育においても、学校・家庭・地域が協働し、郷土への誇りと夢を併せ持つ豊かな人間性や社会性を備えた人材育成に取り組むとともに、国際性や多様性も理解できる未来の別府市民の育成を推進する。

カ 数値目標

指 標	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
合計特殊出生率	1.39	1.40



(2) 具体的な施策、主な取組とKPI

【施策ア】 結婚妊娠出産子育ての切れ目ない支援の充実



取組① 男女が出会える機会の創出

結婚の希望を叶えるために、市内の男女同士、市内の男女と市外の男女が出会う機会を創出するイベントの創設・開催などに取り組む。またデジタルを活用した婚活事業の取り組みについても検討を行う。

- 出会いの機会が生まれるイベントの開催
- 婚活サポート事業の有効活用

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
男女が出会う機会を創出するイベントの募集人員に対する申込数の割合	88%	95%

取組② 妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援

妊娠、出産、子育ての不安や悩みを軽減・解消するため、切れ目ない総合的な相談対応を行うワンストップ拠点の整備や関連団体と連携した支援体制の拡充、産後ケアの推進に取り組む。

- 悩みなどを受け付ける体制の整備
- 関連団体とのネットワークを活用した解決に向けた相談対応
- こども家庭センター運営事業の推進
- 子育て支援に係る官民連携の推進
- 母子保健法による産後ケア事業及び別府ウェルネス産後ケアの推進

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
赤ちゃん訪問の実施率	99.5%	100%

取組③ 子どもの健康促進

子どもの健康増進に向け、生活習慣病の予防に対する支援に取り組む。

- 子どもの肥満予防の推進

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
小学5年生の肥満傾向児童の割合	小5:16.7%	小5:14.9%
中学2年生の肥満傾向生徒の割合	中2:11.6%	中2:11.0%

基本目標



取組④ 安心して子どもを預けられる環境整備

子育て世帯が安心して働けるようにするため、保育ニーズに対応した保育サービスの提供に取り組む。

- 通常保育、延長保育、休日保育、病児保育、乳児保育、障がい児保育の充実
- 預かり保育の充実
- 放課後児童クラブの充実

KPI	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
認定こども園整備数	3か所	19か所
一時預かり事業	8か所	12か所
放課後児童クラブ事業	38か所	39か所

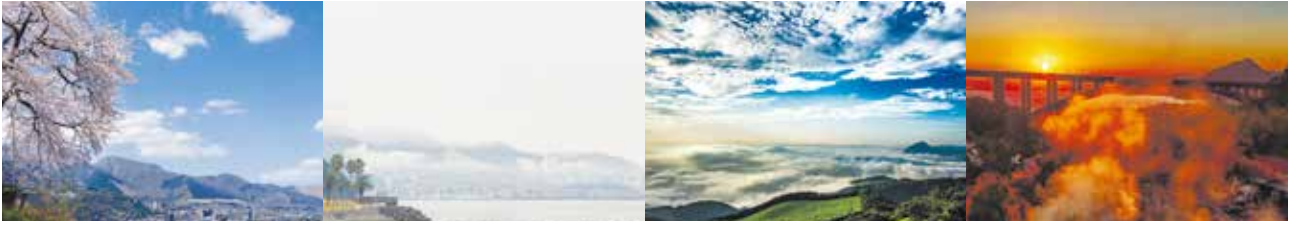
取組⑤ 地域における子育ての支援

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所として、地域子育て支援センターにおいて、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う。

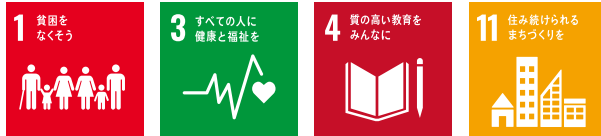
また、児童の預かりの援助を受けたい人と援助を行いたい人との相互援助の仕組みとして、ファミリー・サポート・センター事業の利用を促進し、児童の健全育成を図る。

- 地域子育て支援拠点事業の充実
- ファミリー・サポート・センター事業の充実

KPI	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
地域子育て支援拠点事業	6か所	6か所
ファミリー・サポート・センター事業	1か所	1か所



【施策イ】 全ての子どもを育む環境の充実



取組① 地域の子育て力の強化

地域住民の参画を促し、家庭教育に関する学習機会の提供や保護者への相談対応、情報提供等を行う家庭教育支援のネットワークを組織(べっぴん子育てlabo)することに取り組む。

また、子育てのサポートをお願いしたい人(おねがい会員)と応援したい人(まかせて会員)をマッチングする仕組みとして、「別府市ファミリー・サポート・センター」の利用促進を行う。

- 家庭教育に関わる今日的な課題解決のための学習機会の提供
- べっぴん子育てlaboの開催
- 家庭教育推進大会の開催
- 別府市ファミリー・サポート・センターの利用促進
- 子育てに関する地域での情報共有の場の設置

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
学習機会(講座)の参加者の年間総数	613人	700人
べっぴん子育てLabo組織数	4	20
別府市ファミリー・サポート・センター登録者数 (「まかせて会員」数)	166人	186人
「まかせて会員」の活動件数	720件(R4)	792件

取組② 子どもの居場所の確保

公民館や児童館、児童クラブ等が連携を図り、子どもの放課後や休日・長期休業中の安心・安全な居場所づくりと様々な生活体験・自然体験活動、交流活動、補充学習の機会を提供することとおして、子どもの健全育成と地域の教育力を高める。

- 未来創生塾(放課後トライ・放課後学習教室)の実施
- 小学生チャレンジ教室(子ども夢チャレンジ★通常・特別・世代間交流)の実施
- 児童館の活用

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
未来創生塾を利用する子どもの数	3,449人(延べ)	10,000人(延べ)
小学生チャレンジ教室に参加する子どもの数	1,899人(延べ)	4,000人(延べ)
児童館施設利用者数	51,731人	55,000人

基本目標



取組③ 子どもの安全安心の確保

全ての子どもの安全安心を確保するため、いじめを含む学校における問題や虐待、貧困への対策、見守り活動や注意喚起の情報発信、防犯教育の実施などに取り組む。

- いじめの防止、早期発見、対処
- 「学校に行きづらさを感じている」子どもたちへの支援
- 児童虐待対策の実施
- 子どもの貧困対策の実施
- 登下校時の見守り活動（ボランティアの活用など）の推進
- インターネットの利用に関する注意の喚起
- 防犯教育の実施

指 標	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
学校の組織的な対応により、いじめが解消した割合	小学生 69.9% 中学生 91.9%	100.0%
学校内外の専門的な支援が受けられている 「学校に行きづらさを感じる」児童生徒の割合	小学生 90.1% 中学生 64.7%	100.0%





【施策ウ】 別府の未来をつくる人材の育成



取組① 教育環境の整備

1人1台タブレットを活用した教師の授業力向上及び児童生徒の「情報活用能力」の育成に取り組む。

●学校教育におけるICTの活用の推進

KPI	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
ICT機器を授業で週3回以上活用したと回答した教師の割合	93%	95%(全国平均)以上
ICT機器を授業で週3回以上活用したと回答した児童生徒の割合	62%	80%(全国平均)以上

取組② 子どもの教育の質の更なる向上

別府の未来をつくる人材の育成の礎として、学校教育における質の向上に取り組む。

- 学力向上プランに基づいた組織的な取組の推進
- 別府市学力調査の実施
- 学校運営協議会(学力向上会議)による学力向上に向けた取組の評価・改善

KPI	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
別府市学力調査における平均正答率が母体正答率を上回った割合	小学校 83.3% (24項目中20項目) 中学校 90.0% (20項目中18項目)	全教科全項目で母体正答率を上回る

取組③ 安全でおいしい学校給食の提供

小中学校及び幼稚園に安全安心でおいしい学校給食を安定的に提供できる環境を整える。

- 安全でおいしい学校給食の推進
- 新たなメニューの開発
- 試食会や調理実習の実施
- QRコードで寄せられた子ども達の意見を給食に反映
- 地産地消の推進

KPI	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
学校給食児童生徒の満足度	中学校 86.7% 小学校 90.0%	95%

基本目標



取組④ 郷土に関する学習「別府学」の実施

児童生徒の郷土への愛着と誇りを培うために、別府市の自然、歴史、文化などを学ぶ「別府学」を実施する。

- 「別府学」学習資料の編集と活用
- 「別府学」を位置付けた教育課程の作成と実施

指 標	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
郷土別府に対して誇りや愛着を持っている生徒の割合	86%	86%以上

取組⑤ 国際感覚豊かな人材の育成

100を超える国と地域からの留学生が暮らし、多くの外国人観光客が訪れる本市の特性を生かし、世界各国からの多様な人材と、未来を担う子どもを中心とした市民との接点を創出し、国際感覚豊かな人材の育成に取り組む。

- 国際交流と多文化共生両方の視点からの国際理解教室の実施
- 留学生などの母国の食や文化を体験できるイベントの開催

指 標	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
国際理解教室等の事業の参加者数	227人	480人

取組⑥ 子どもの読書活動の推進

子ども読書推進計画(第3次)に基づき、「読書大好き」別府っ子をめざす姿に掲げて、子どもの読書活動推進を行う。

- 子どもの読書活動推進協議委員会の実施
- ブックスタート事業の実施
- 子ども司書養成講座の実施
- 認定子ども司書の活動の実施
- 子どもの読書活動応援ボランティアネットワークの会「ぶっくる」の活動実施

指 標	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
認定子ども司書の活動への参加延べ人数	25人(延べ)	100人(延べ)
読書が好きと回答する児童生徒の割合	小5:68.3% 中2:65.4%	小5:73%以上 中2:70%以上

4

まちの創生

(1) 基本的方向

ア 本市の資源・強み

本市は、温泉や公園、海と山の両方の豊かな自然を有し、近隣の市町村には水族館などのレジャー施設も充実しており、魅力的なイベントのPRや開催にも積極的に取り組んでいる。更には、生活や観光の基盤となる道路や地域交通の充実にも順次取り組んでおり、市民及び近隣住民や観光客がゆつくりと質の良い余暇を過ごすことが出来る環境が整っている。

また、自主防災組織による防災訓練の実施など、地域コミュニティと連携した取組も進み、市民や観光客などの滞在者が安全安心に過ごせるまちづくりも推進している。

イ 本市の課題・弱み

本市の課題としては、地域交通の更なる拡充が挙げられる。本市の中心部は扇状地であるため坂道が多く、誰もが快適に生活や観光をする上で、二次交通の利便性向上や道路のバリアフリー化の推進などが必要である。

また、にぎわいの場や地域の更なる拡大、商業施設や地域コミュニティの更なる活性化など、地域と協働で、別府に居る人がいきいきと安全安心に過ごせるまちづくりに一層邁進していくことが必要である。

ウ 目指す姿

中規模多機能自治※₃を推進し、市民と行政が相互に協力・連携する協働のまちづくりに取り組み、誰もがいきいきと安全安心に過ごせるまちづくりを目指す。

エ これまでの取組

防災や見守りなどにおいて、中規模多機能自治を推進し、地域の多様化・複雑化する課題の解決に、地域と協働して取り組んでいる。

なお、手続きの簡素化・待ち時間の短縮などの行政サービスの利便性向上、人材育成による業務品質・効率の向上にも取り組んでいる。

オ 基本的方向

交通インフラの拡充、伝統・文化・新たなにぎわいの更なる創出、地域と連携した防災の推進など、ひとや地域がいきいきと活躍できるまちづくりに向け、地域と協働して施策・取組を進める。

カ 数値目標

指 標	現状値(R5)	目標値(R11)
社会増減	30人増※	53人増

※令和2年から令和5年にかけて、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、特に留学生等の外国人の転出入幅が非常に大きいことから、現状値は令和元年から令和5年までの平均値を採用している。

※3.本市の場合、地域包括支援センターの7つの担当区域に合わせ、中規模ながらも、様々な機能を有する、住民自治の仕組みの構築を目指している。

基本目標



(2) 具体的な施策、主な取組とKPI

【施策ア】 誰もが安全安心なまちづくり



取組① 地域の防災体制の強化

甚大な被害が想定される南海トラフ地震を含めた各種災害に対応するため、デジタル技術を効果的に活用したハード面の整備に取り組むとともに、多様化する社会を踏まえて、ダイバーシティの視点をもってソフト面の対策を推進する。

- デジタル技術を活用した避難所運営及び被災者支援の効率化
- デジタル技術を活用したハザードマップの導入及び活用した防災啓発
- 防災士資格の取得推進及び実践力の高い防災士の育成推進
- 学生等に対する防災教育の充実
- 地域と連携した防災訓練の実施及び参加者数の増加
- 災害備蓄品の効率的な管理及び発災時の効率的な配布要領の確立
- 観光客の安全確保
- インクルーシブ防災事業の推進
- 個別避難計画の早期策定及び訓練の推進
- 訓練等を通じた庁内の災害対応力の強化

KPI	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
各町の自主防災会による防災訓練実施数	87町	120町

取組② インクルーシブ防災の推進

災害から命と暮らしを守るため、被害を軽減するための平時の取り組みと災害発生直後にスムーズな支援活動につなげられるための仕組みづくりを行うとともに、人づくりを意識的に行う。

- アクションプランの実施
- 障がい者の学びとネットワークづくり
- 医療機関・福祉施設等の事業継続計画の作成
- 事業継続計画作成に参加し、所属組織や施設で計画作成を行える人材の育成
- 年間事業を報告書やDVDにまとめ、理解を深め事業促進を図る

KPI	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
プラン総数に対する割合	—	100%
障がい者の参加数	10人	100人
組織としての事業継続計画作成を確認する件数	2か所	5か所(累計)
事業継続計画作成研修に他団体から参加する人数	7人	49人(累計)
年間事業報告書等作成数	300件	1,500件(累計)



取組③ 災害に強いまちづくり

市民や観光客の安全安心を確保するため、水道などのライフラインの防災・減災、早期復旧の体制整備などに取り組む。

- 災害時のライフライン供給体制の整備(水道などの耐震化)
- 地域コミュニティとの防災・減災に向けたまちづくり
- 上下水道におけるDXの推進

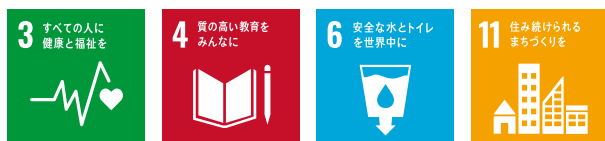
KPI	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
配水池の耐震化率	48.7%	72.1%
基幹管路の耐震適合率	48.4%	50.8%



基本目標



【施策イ】 市民生活の質の向上に向けたまちづくり



取組① 地域公共交通の利便性向上

日常生活や観光における移動手段の確保のため、既存のバスやタクシーと新たな移動手段とを連携し、安全・安心な移動手段の確保を目指す。

- 利用しやすく持続可能な市内ネットワークの最適化
- 交通空白地域の解消に向けた取組
- 先進的な技術やICTを活用した効率的な交通・物流の推進(交通DX及び交通GX)
- 既存公共交通を補完する新たな移動手段の整備
- 交通結節点における乗継の利便性の向上
- 観光客等に届くわかりやすい情報案内の充実
- 訪日外国人への交通需要に対する適正な供給
- インクルーシブな交通政策の推進
- 地域における交通やまちづくりに取り組む人材の確保及び育成
- 地域公共交通の再構築の推進

KPI	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
公共交通サービスの満足意向を示す市民の割合	26.2%	30%
湯けむりライドシェアの年間延べ利用者数	—	10,000人(延べ)

取組② 誰にもやさしい道づくりの促進

全ての人にとってやさしい道づくりとして、歩道や道路の改良や整備を促進するとともに、道路に不具合があった場合に市民などからすぐに通報が来るシステムの活用などに取り組む。

- 歩道の段差解消
- 道路舗装の改善
- 道に関するSNSを活用した通報システムの活用
- デジタル活用による道路管理の効率化

KPI	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
全通報件数に対するICTを活用した通報件数の割合	7.9%	10%

取組③ 誰にもやさしい施設整備の促進

高齢者や障がい者がまちに出たくなるよう、施設やトイレなどのバリアフリー化の推進や、乳幼児を連れた保護者が授乳やおむつ替えができる場所を提供する施設「赤ちゃんの駅」の拡充などに取り組む。

- 「赤ちゃんの駅」の普及

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
「赤ちゃんの駅」の登録数	35か所	40か所

取組④ こころのバリアフリー化・ユニバーサルデザインの促進

部落問題をはじめ、あらゆる人権問題の解決に向け、高齢者や障がい者が気兼ねなく暮らせる住居を確保するため、心理的なハードルや物理的な制約を少なく出来るよう、企業や地域のコミュニティを構成する市民を啓発する取組を行う。

- 企業等に対する啓発の実施
- 市民に対する啓発の実施

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
「差別をなくす市民の集い」への参加者数	265人	400人

取組⑤ 下水道整備の促進

公衆衛生の確保、生活環境の保全・公共用水域の水質保全などのため、下水道を利用できる人口の増加を図ると共に、下水道利用者人口の増加に取り組む。

- 公共下水道管きよ整備事業
- 下水道接続工事補助金の活用促進
- 上下水道におけるDXの推進

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
下水道整備進捗率	87.4%	89.3%

取組⑥ みんなが行きたくなる公園づくり

誰でも利用しやすい公園を提供するため、市民ニーズを踏まえた公園施設の整備補修を進めるとともに、憩いの場となる公園づくりに取り組む。

- 公園マネジメントの推進
- 既存公園のリニューアルの推進
- こどもまんなか公園づくりの推進
- 公園施設長寿命化計画の推進

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
公園の整備・維持管理について満足している人の割合	—	80%

取組⑦ 図書館・共創交流拠点こもれびパークの整備と活用

ひとりひとりが幸せを実感できる居場所として、夢や目標の実現と地域課題の解決に役立つサービスや機能を提供し、ひとびとの多様な創造的活動と交流の場を創り出す。

- 市民一人ひとりの求めに応える資料や情報の提供
- 市民の多様な相互交流の促進と創造的活動の支援
- 地域文化を守り継承する郷土資料の収蔵及び展示
- 関係機関や企業、団体と連携した地域共創の推進
- 複合施設の相乗効果を生み出す一体的な管理運営

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
図書館の登録者数	32,575人	61,000人
図書館の一人あたり貸出冊数	2.28冊	5.5冊
こもれびパークの稼働率	—	60%

基本目標



取組⑧ 文化芸術活動を通じたまちづくりの推進

既存の文化芸術関連施設の更なる活用に加え、まちなかにもアートがあふれ、訪れるものの心を豊かにしてくれるまちづくりに取り組む。

また、アーティストやクリエイターのアイディアや発想、視点等を活用して課題解決等に取り組む。

- 「音泉タウン音楽会」などまちなかでの文化芸術イベントの開催
- 「別府アルゲリッチ音楽祭」の開催協力及び「しいきアルゲリッチハウス」の運営協力
- 「混浴温泉世界実行委員会事業」の実施協力
- 「別府市民フィルハーモニア管弦楽団」の活動支援
- 「マーチング・カーニバル in 別府」の開催協力
- 別府市創造交流発信拠点「TRANSIT」での活動支援

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
文化芸術イベントの参加者数	66,096人	70,000人

取組⑨ 全ての世代の活躍に向けた健康寿命延伸の推進

健康教室や保健指導などによる生活習慣病の改善、地域による健康づくりに関する取組や住民の健康への意識向上を図り、平均寿命と健康寿命の延伸、平均寿命と健康寿命の差の縮小の実現に取り組む。また、各種教室やサービス提供におけるデジタル技術の導入を進め、さらなる利便性の向上を図る。

- 温泉などの地域特性を活用した健康づくりの3要素(「栄養・食生活」「運動・身体活動」「休養・こころの健康」)の改善支援
- 民間事業者などと連携した市民の健康意識の向上に向けた啓発
- 健康増進の情報発信における市公式SNSの積極的活用と、QRコード及びロゴフォーム等を活用した申し込み手続きの簡略化
- 大分県がリリースしている健康アプリ「おおいた歩得(あるとつく)」のさらなる普及と活用
- 特定健診・がん検診等の受診率の向上

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
平均寿命と健康寿命(到達者年齢)の差	男性 1.54年 女性 3.16年	男性 1.54年以内 女性 3.08年以内

取組⑩ 認知症高齢者の方の家族支援・相談支援体制の充実

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる手助けをし、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組む。

- 認知症の方が安心して暮らせる地域づくり(社会福祉協議会と連携)

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
認知症サポーター養成講座受講者数	234人	750人(累計)



【施策ウ】 連携と協働による持続可能な地域づくり



取組① 地域力の維持・向上

地域運営組織を活用した「中規模多機能自治」を推進し、地域がある程度の規模感をもって連携・協働し、相互に支え合って地域の課題に取り組める環境づくりに取り組む。

- 中規模多機能自治の推進
- ひとまもり・まちまもり支援事業の推進
- 地域活動及び市民活動の活性化
- 人材の育成
- 地域の歴史・伝統・文化の継承・発展

KPI	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
ひとまもり・まちまもり協議会におけるデジタルを活用した事業実施数	10件	15件(累計)

取組② 持続可能な温泉資源の保護及び活用

貴重な財産である温泉を将来にわたって持続可能なものとするために、「別府市温泉マネジメント計画」で定めた①持続可能な取組の環境づくり②地下資源の保護③ゆう出した未利用湯の適正管理④持続可能な共同温泉等の4つの施策を推進していく。

- 持続可能な取組の環境づくり
- 地下資源の保護に向けた泉源の定期的な観測
- 未利用湯の適正管理に向けた安定供給システムの構築
- 持続可能な共同温泉と温泉文化の継承のための取組

KPI	現状値〔R5〕	目標値〔R11〕
市民参加型定点観測調査「せーので測ろう! 別府市全域温泉一斉調査」における泉源の調査箇所数	83箇所	500箇所(累計)

基本目標



取組③ 大学連携の促進と地域課題解決の人材育成を通じた関係人口の創出

大学(学生)と地域課題解決の提案並びに実証活動を通じて、より深い共創の成果を得るとともに、地域課題解決の人材育成を企図し、関係人口の創出に取り組む。

- 大学と連携した施策立案
- 大学と企業が連携したビジネス・商品の研究開発
- 大学と連携した人材の育成
- 大学と連携した調査、研究
- 地域課題解決に向けたプロジェクトの実証
- 産官学民の連携したスマートシティの推進

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
施策立案において大学と連携したプロジェクト実施数	2件	3件

取組④ 地域教育力の強化

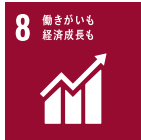
公民館に地域コーディネーターを配置し、学校教育と協働して地域の課題解決や、学校や地域の教育環境の魅力の向上を図るための取組を行う。それにより、地域の大人が子どもたちと関わりを持つことによって交流を深め、地域のコミュニティを活性化し、地域みんなで将来を担う子どもたちを育てる地域社会の形成を図る。

- 学校における地域学校協働活動の実施
- 未来創生塾(放課後トライ)の実施
- 小学生チャレンジ教室(子ども夢チャレンジ★通常・特別・世代間交流)の実施
- 家庭教育支援部会(べっぴん子育てLabo)の実施
- ボランティア活動活性化のため登録に関するデジタル化の推進

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
ボランティア登録者数	228人	700人(累計)
学校支援に参画したボランティア数	2,954人	4,000人



【施策Ⅰ】 市民を第一にした行政サービスの実現とデジタル化の推進



取組① デジタルファーストの更なる進化

デジタル技術を徹底活用し、だれ一人取り残さない、デジタルが得意でも不得意でも便利な「いかになくていい」、「またなくていい」、「情報が直接とどく」市役所の実現を目指す。

- 市民サービスのデジタルファーストの推進
- 行政運営のデジタルファーストの推進
- 窓口における市民対応の強化(混雑状況の案内や予約サービスの導入)

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
市民意識調査「オンライン手続きの整備状況に対する満足度」	—	60%以上
オンライン申請の業務数	—	1,000件(累計)
チャットボット利用数(生成AI活用型、シナリオ型)	82,513件	100,000件

取組② 市役所の業務改革と窓口を始めとした行政サービス改革の実行

ICTの活用などにより行政効率の改善、市民の利便性の向上や職員の業務効率化、市民の状況に応じた最善の方法での行政サービスの提供に取り組む。

- 事務作業の効率化の推進
- 窓口を始めとする市民(行政)サービスの向上
- アナログ規制の見直し
- 市職員が安心して働くことのできる環境の確保

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
市民意識調査での市の窓口に対する満足度	51.1%	60%
業務改革や事務作業の効率化による業務時間の削減数	—	100時間

取組③ 競輪などの既存の事業収益の向上及び活用

新規利用者の獲得を含め、競輪などの既存の財源の収益性を向上させ、市民生活向上の財源として事業収益を一般会計に繰り出し、施策や取組への積極的な活用に取り組む。

- 別府競輪場の広報
- 利用者数の増加
- 競輪場の開放イベント拡大による競輪事業以外の利用促進

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
別府競輪の事業利用者数	180,117人	198,128人

基本目標



取組④ 遊休公有財産(土地・建物など)の有効活用

本市が保有する土地・建物などの遊休公有財産について、多目的での有効活用に取り組む。

- 遊休公有財産の有効活用(産業振興など)
- 遊休公有財産の公売・市民などによる再利用の促進
- 市役所庁舎中庭の有効活用

KPI	現状値(R5)	目標値(R11)
公有財産の有効活用件数	40件	51件(累計)





施策効果の検証などの実施

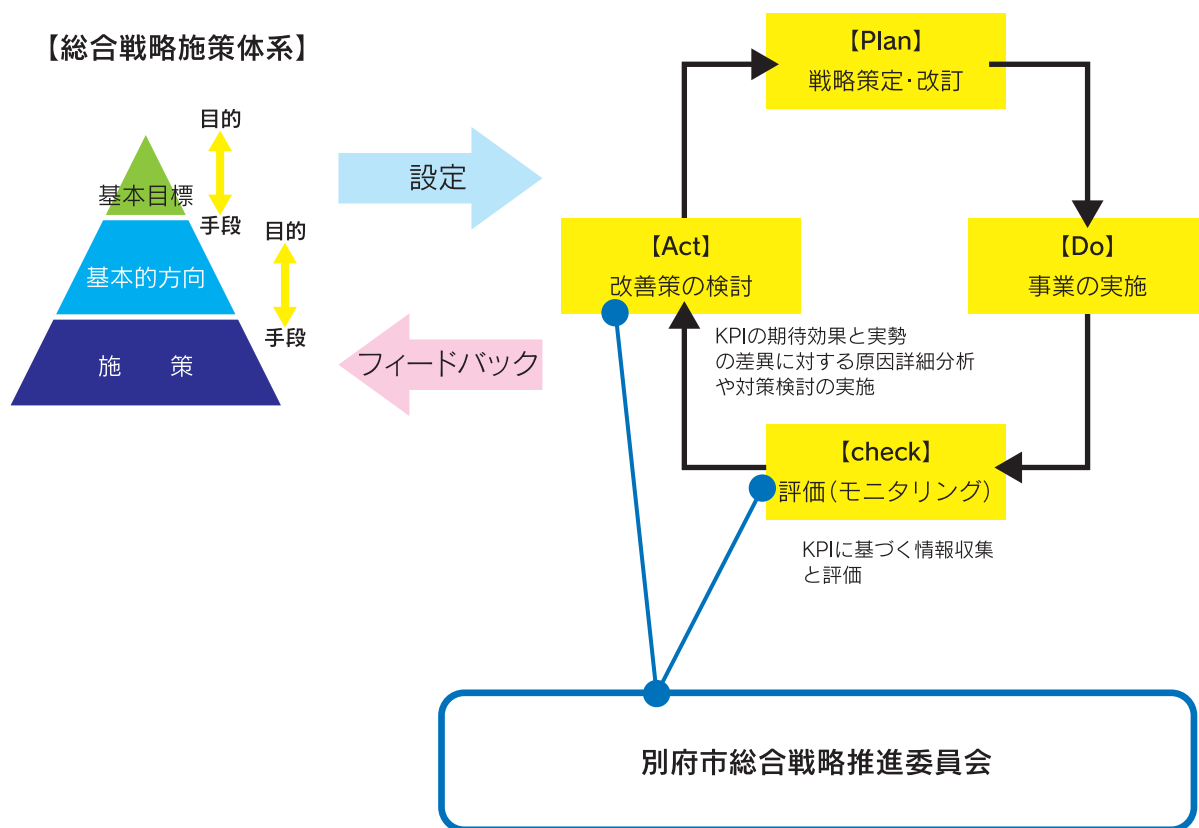


施策効果の検証などの実施

1

施策効果の検証などの実施

施策効果の検証と改善については、その着実な実現に向け、市民や各種団体などの参画を得て、平成28年度に設置した別府市総合戦略推進委員会にて、各取組などの調査・検証を行い、その結果に基づく見直し・改善を実行しながら、必要に応じて総合戦略を改訂し、持続可能なまちの創造に向けて、挑戦を続ける。



まち・ひと・しごと創生
第3期別府市総合戦略

～まちをまもり、まちをつくる。べっぴん未来共創戦略～

発行年月：令和7年3月

発行：別府市企画戦略部政策企画課

〒874-8511 大分県別府市上野口町1番15号

電話：(0977)21-1122

E-Mail：pco-pf@city.beppu.lg.jp



まち・ひと・しごと創生 第3期別府市総合戦略

～まちをまもり、まちをつくる。べっぴん未来共創戦略～



発行年月：令和7年3月

発行：別府市企画戦略部政策企画課

〒874-8511 大分県別府市上野口町1番15号

電話：(0977)21-1122

E-Mail：pco-pf@city.beppu.lg.jp